

令和3年度（2021年度） 二次試験問題

## 戦国武将の分析及び助言に関する事例



戦国 SWOT 分析士

武田家は、清和源氏の名門で、鎌倉時代より甲斐国の守護大名として、国内外の勢力と攻防を繰り返してきた。第 19 代当主であった父の信玄氏の時代に、甲斐、信濃、駿河、遠江の合計 100 万石以上の領地を得る。

現当主の勝頼氏は、1573 年に、先代の信玄より家督を継承し、第 20 代武田家当主となる。本来は兄の義信氏が武田宗家を承継する予定であったが、武田家の成長戦略に関して、父との経営方針の相違により、自害させられた事で、急遽、後継者指名された経緯がある。

この問題は、経済力の低い武田家が、義信氏の妻の実家である今川家の駿河遠江を占領し、収入の増加を図りたかったのが原因であった。

勝頼氏は、父の死後、その遺産である 100 万石の領地と強力な家臣団を継承し、隣国の北条家や上杉家と関東甲信越エリアを三分する大きな勢力の舵取りをする事となった。

一方で、東海北陸を含む西日本エリアでは、織田家が合計 600 万石規模の勢力を有し、更なる勢力拡大を進めていた。

また、武田家の支配地域である甲信越地方についても、徳川家康と提携し、武田家配下の奥平家を調略するなど、東日本エリアへの進出を計画していた。

この時期の武田家には、父信玄のカリスマ性に心服してきたベテラン家臣たちが多く残っており、その人心の掌握に不安を感じていた。勝頼氏は、ベテラン家臣の中でも、古くから関係性の強い長坂釣閑斎を重用するようになっていた。

家中での発言力を強化するために、勝頼氏は父に勝る大きな成果を示す必要性を感じていた。

1575 年に、勝頼氏は織田・徳川連合軍と長篠で激突する。織田家を打倒し京に上り、足利幕府再興する事は、父信玄ですら果たせなかった野望でもあった。

しかし、親戚である穴山氏などの一門衆やベテラン家臣たちとの連携ミスにより、大敗を喫し、多くの有能な家臣たちを失う。その影響もあり、勝頼氏の側近となっていた長坂釣閑斎や跡部勝資などが武田家内での影響力を強める事になった。

敗戦後の武田家は、勢いに乗じた徳川家から遠江国の武田領へ度々の攻撃を受け、一進一退の攻防を繰り返す事となった。

そのころ、前将軍の足利義昭より、武田家・上杉家・北条家の三家による同盟のあっせんを受け、武田家は上杉家との調停に応じるものの、上杉家と北条家は調停に応じなかったため、三国同盟は実現しなかった。武田家と北条家は元々同盟関係にあり関係が良好だったが、上杉家と北条家の因縁は、当時から支配地域を巡って根深いものがあった。

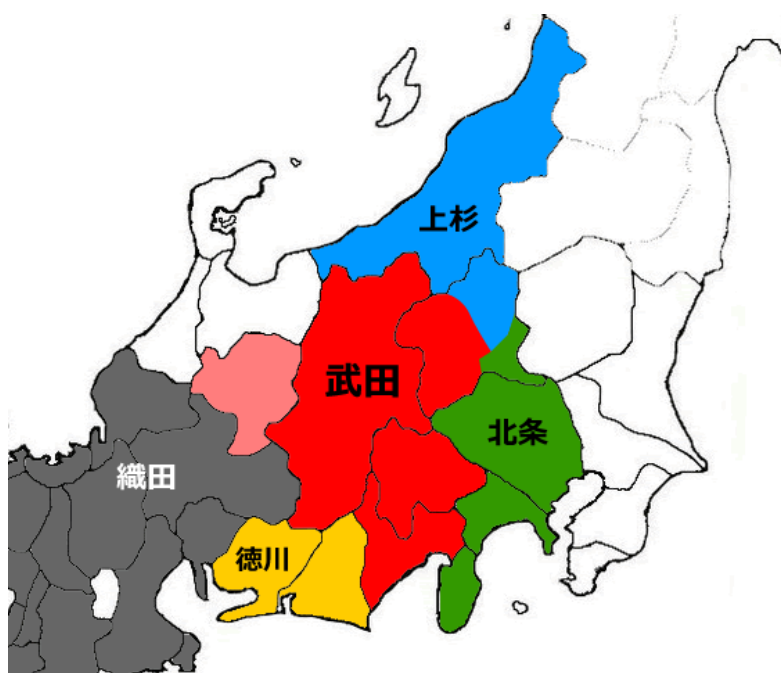
1578 年にライバルであった上杉謙信が急死し、上杉家内部で景勝氏と景虎氏の間で、家

中を二分する熾烈な家督争いが起こる。

謙信の武力によって安定していた北陸エリアで、この御館の乱と呼ばれる内戦が起こり、武田家を含む周辺地域も急遽対応を迫られる事となった。織田家はすかさず越前方面から軍を進めて、上杉領となっていた加賀越中地域を奪い勢力を拡大した。

勝頼氏は、父の時代からの同盟国である北条家から、北条家の一門でもある景虎氏とそれを支持する一派の側面支援を要請され、自ら軍を率いて遠征した。

一方で、不利な状況にあった景勝サイドからは、北信濃の割譲・黄金の提供など、勝頼側に有利な条件での講和の申し入れがあった。



勝頼氏が率いる武田家は、長篠の戦いで多くの有能な家臣を失い、勢力が縮小傾向にあるが、まだ100万石近い領地を支配下に置いている。また、中国10ヶ国を支配下に置く毛利家との同盟に成功している。

長年に渡り織田家と対立している本願寺勢力とも友好関係にある。しかし、一門衆などからは、勝頼氏の方針に不満の声が出てきており、経営のかじ取りに予断を許さないのが現状である。

勝頼氏は、武田家の内部事情と外部環境を踏まえ、上杉家の内乱への関与の判断が、武田家の生存戦略の重要なポイントだと考えている。

#### 第一問

先代当主の信玄氏時代の武田家について各設問に答えよ。

##### (設問一)

信玄氏が当主だったころの武田家の強みと弱みを各 20 字以内で答えよ。

##### (設問二)

信玄氏はどのような理念・ビジョンを描いていたと考えられるか 40 字以内で答えよ。

#### 第二問

勝頼氏が、先代の信玄氏から事業を承継した時点での武田家の課題を 60 字以内で答えよ。

#### 第三問

武田家は、長篠の戦いで大敗を喫するが、その原因を組織的な視点から 60 字以内で答えよ。

#### 第四問

上杉家の景勝氏と景虎氏による家督争いで、勝頼氏が武田家の繁栄のために取るべき施策を 100 字以内で助言せよ。

令和三年度（二〇二一年度） 二次試験解答用紙

第一問

(設問一)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(設問二)


第二問


第三問


第四問